

JBR、イタリアGT選手権の最終戦モンツァへフェラーリ296 GT3で参戦



ジェントルマンドライバー向けのレーシングチーム「JBR」（運営会社：HF GROUP 株式会社 | 東京都港区 | 代表取締役 藤井誠暢）は、イタリア最高峰のGTチャンピオンシップであるイタリアGT選手権の最終戦モンツァ（開催日：10月4日～6日）にフェラーリ296 GT3を投入、2人の日本人ブロンズドライバーを起用してGT3 AMクラスに参戦いたします。

JBRは関連事業である国内初会員制ドライビングラボ「simdrive / シムドライブ」の会員を中心に、国内外のモータースポーツへ挑戦したいジェントルマンドライバーの活動をサポートする目的で6月のGTワールドチャレンジアジア / SRO Japan Cupよりレース参戦を開始。シムドライブのシミュレーションプログラムを有効に活用し、レース初挑戦となるジェントルマンドライバーがコンビを組みGT4 AMクラスで2度の優勝を果たしています。

また、来年1月には中東のドバイ・オートドロモで開催される2025年ドバイ24時間レースへの参戦を計画するなど、今後もシムドライブとの連携によりモータースポーツへ挑戦したい多くのジェントルマンドライバーの活動をサポートしてまいります。



藤井誠暢 / JBR Team Principal & Managing Director

JBRとしてイタリアGT選手権への参戦を発表でき嬉しく思います。同チャンピオンシップに日本籍のチームがエントリーするのは初めてとなりますが、我々のエントリーを承知頂いた主催者並びに関係者に感謝いたします。フェラーリの地元であるイタリアのモンツァにて、最新型のフェラーリ296 GT3を走らせられることを誇りに思います。過去にFIA WECで何度も訪れたサーキットですが、イタリアで100年以上の歴史ある地に再び挑めることを楽しみにしています。